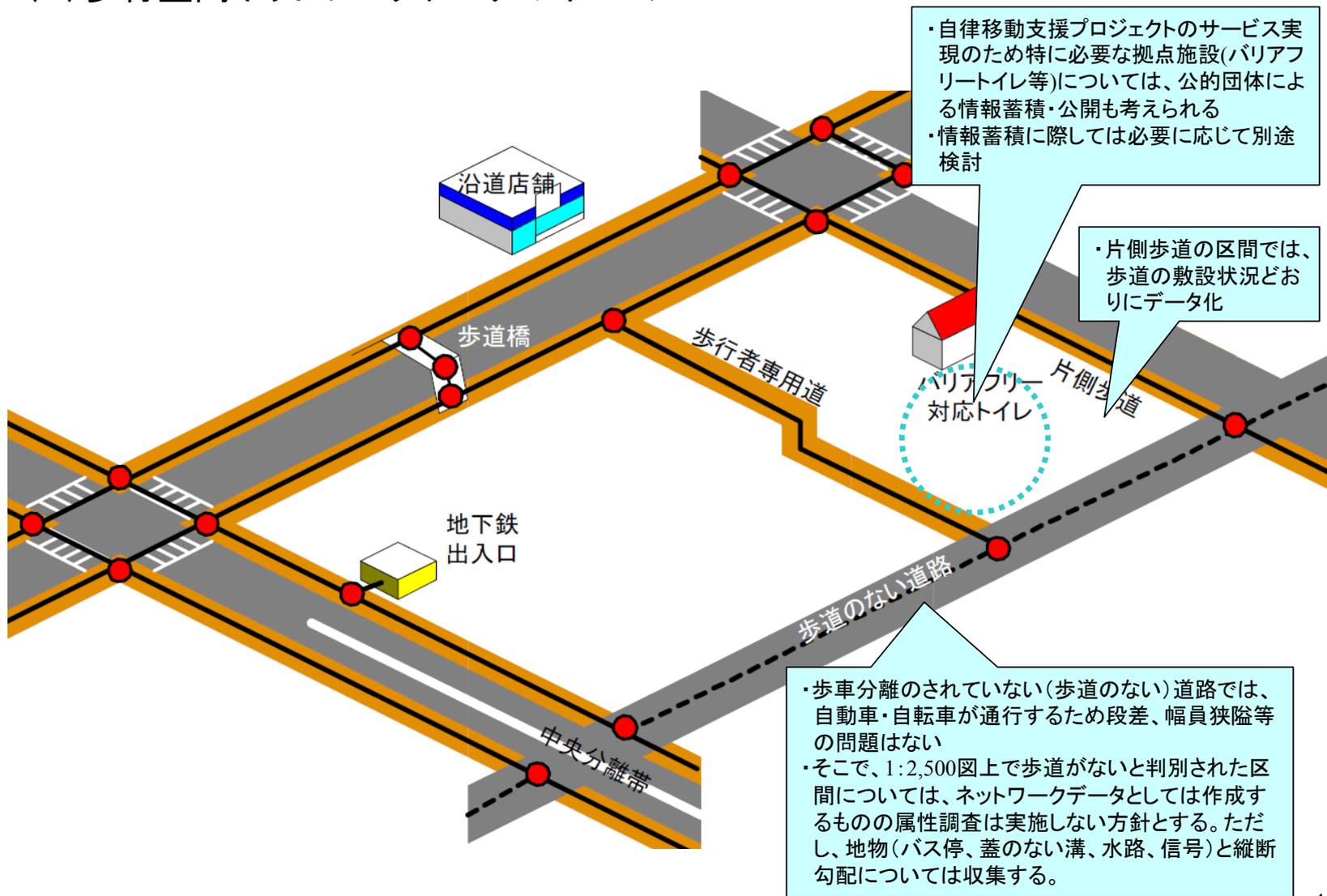


歩行空間ネットワークデータ仕様(案)

(1) 歩行空間ネットワークデータのイメージ



(2) 全体構成

項目名	方針(案)	備考
対象とする歩行空間の種類	道路、広場、公園内通路等公共空間、及び駅等の公共交通機関施設のほか、大規模建造物内の通路を対象	
	道路・通路(鉄道駅構内を含む)	歩道、歩行者専用道路、園路、横断歩道、動く歩道、改札口、コンコース、ホーム、踏切、建物出入口
	昇降施設	エレベーター、エスカレーター、階段、スロープ
ノードの配置	○歩行経路の交差・分岐点 (交差点・横断歩道橋の起終点) ○経路属性の変化点 (スロープの起点等)	バリアの存在による迂回の可能性に応じ設定
経路(リンク)の設定	歩道の設置状況に従う	※片側歩道については片側のみ表記 ※歩道のない道路については中心線で表記
歩行空間ネットワークの最高密度	数m程度より細かい形状は単純化する	位置特定インフラ機器の精度より設定 ▶ 位置特定インフラ機器の最小通信距離(電波通信方式で10m、赤外線通信方式で2m程度)以上の密度でノードを配置しても、これに応じたきめ細かな誘導は困難 ▶ 歩行空間ネットワークの最高密度(=ノードの最高配置密度)の目安は、これを考慮して10m程度に設定
データの構成	CADデータで表記	▶ 各地図会社が保有するシステムへの共通的な移行を考慮すると、簡易な構造とすることが望ましい ▶ GIS等の高度なシステムではなく、リンクとノードにID付与されたネットワークデータと各IDに対する属性データにより構成
	属性は全てリンクに持たせる	経路(リンク)内の区間で最も厳しいバリア(幅員最小値、段差最大値)をもって経路(リンク)全体の属性とする

(3) 経路(リンク)データ

属性名	入力仕様(案)		備考
経路(リンク)ID	ユニークID(128bit)		
経路(リンク)の種類	道路・通路(歩道、歩行者専用道路、園路、横断歩道、動く歩道、改札口、コンコース、ホーム、踏切、建物出入口) 昇降施設(階段、EV、ES、スロープ)		同一階層上で完結 2つの階層を結ぶ経路
段差	2cm未満 2~5cm	5~10cm 10cm以上	対象経路(リンク)内の最大段差で評価
有効幅員	1.0m未満 1m以上1.5m未満	1.5m以上2.0m未満 2.0m以上	対象経路(リンク)内の最小幅員で評価
供用時間	供用開始時(24h制)	供用終了時(24h制)	時間・日にち・曜日限定で運用されている場合に表記 供用開始日、供用終了日は、4桁の数(0401等)、 供用曜日は、日曜=0・・・土曜=6で表記 時間で方向の異なるもの、複数の供用時間があるものは、複数のリンクを併設して表現
	供用日開始日	供用終了日	
	供用する曜日		
方向性	起点より終点方向	終点より起点方向	エスカレータ、動く歩道に対して記載
縦断勾配	手動車いすで自走困難な 箇所なし	手動車いすで自走困難な 箇所あり	NPOのスタッフ等が目視で評価できる定性的な 基準とする(評価マニュアルを別途検討)
階段	段数を整数で表記		
蓋のない溝、水路 の有無	なし	あり	リンクに並行して連続的に存在する場合に表記 部分的な蓋の欠落については評価しない
改札口	車いす対応なし	車いす対応あり	同一入口内での設置有無を評価
信号	信号なし	押しボタン式信号あり	信号種別
	時差式信号あり	これら以外の信号	
	音声なし	音声あり	音声信号の有無

(4) 結節点(ノード)データ

属性名	入力仕様(案)	備考
結節点(ノード)ID	ユニークID(128bit)	
緯度経度桁数コード	1/10秒を標準にコード化	1秒単位から1/10,000秒程度まで緯度経度の桁数をコード化 ※将来高精度の位置測位が実現した場合のため設定
緯度・経度	(上記桁数コードに即す)	1/10秒単位(概ね3m程度)を標準 【設定根拠】 ○交差点の4隅の判別が可能 ○位置特定インフラ(無線・赤外線通信)で特定可能な精度 ○1:2,500都市計画図上でおおむね判別可能
高度	階層数(地下はマイナス)	1の位を中階を表し、10の位より上で階層を表す 高さそのものを表す場合は、地表面からの差を概ね3mを1階層として表記 【設定例】 ○1階 = 10、2階 = 20・・・ ○中2階(1階と2階の間) = 11、中3階(2階と3階の間) = 21 ○複数の中階がある場合は、下から順に若い番号を振る ○中2階1段目 = 11、中2階2段目 = 12・・・ ○地表から高さ約15mの地点 = 50
接続するリンクのID	経路(リンク)IDを羅列	当該結節点(ノード)に接続する経路(リンク)のIDを列挙

(5) その他

- 情報の鮮度・確実度に関する情報
 - 情報収集の時期及び提供者に関する属性を入力

属性名	入力仕様(案)	備考
属性調査に関する情報	調査年月日(YYYYMMDD)	古いデータを排除するために表記
	施設管理責任者が提供 管理者以外(NPO等)による	情報の確からしさの目安として表記
	属性情報入力者名	NPO等、施設管理者以外が属性情報入力を行う場合を想定

- 今後必要に応じて追加が想定される経路(リンク)データ

属性名	入力仕様(案)	備考
視覚障害者誘導ブロック敷設状況	敷設なし 縦断方向に敷設 交差点など注意の必要な箇所のみ部分的に敷設	
横断勾配	手動車椅子で自走不能 車椅子の自走には不向き	段差・幅員等構造的なもの以外のバリアについて、調査者(NPO等)による定性的な判断で入力 「その他のバリア」としてまとめて評価し、バリアの内容は注釈で示す考え方もある
舗装状況	手動車椅子で自走不能 車椅子の自走には不向き	
交通量(混雑)の状況	手動車椅子で自走不能 車椅子の自走には不向き	
放置自転車等の状況	手動車椅子で自走不能 車椅子の自走には不向き	
⋮	⋮	